

令和6年度中野市立中野平中学校

学校だより

稲穂祭特集 2

松崎の地に集い

令和6年 10月 16日発行

文責 松澤 清市

一人一人が輝いた「第54回稲穂祭」



体育祭終了後に撮影した全校の集合写真

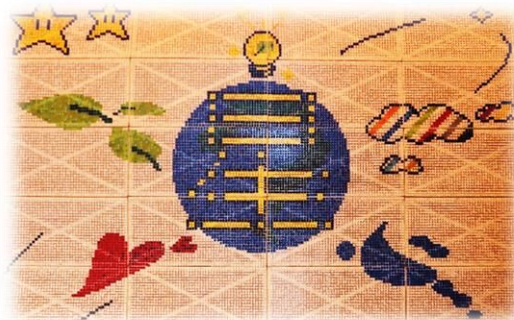
9月27日（金）、28日（土）に「第54回 稲穂祭」が開祭されました。稲穂祭テーマであった「**星 君が主人公（スター）、輝け 一人一人の個性**」のように、一人一人が自分の分担に責任を持って取り組んでいました。また、ステージ上では、緊張感を抑えつつ、精一杯全校のためにパフォーマンスをする姿が見られました。

思いっきり笑い、時には思いっきり涙し、常にエネルギー全開で取り組む皆さんの姿から、私自身、勇気を与えられた二日間でした。



美術部が作成した「ステージバック」

※10月26日（土）、27日（日）に、中野市立図書館で展示されます。



全校で作成した全校制作
「キャップアート」

二日間だけの展示ではもったいない展示物がありました。これだけの作品を作成するのに、多くの時間を費やしました。費やした時間の分だけ、私たちに大きな感動を与えてくれました。

作成当時、30℃を超えるととても暑い中でした。本当に、ご苦労様でした。



給食委員会、保健委員会が作成した
「柱アート」

開 祭 式

「スーパーマリオブラザーズ」を用いた、ユーモアあふれる開祭式。その中で、力強く「開祭宣言」をした松島生徒会長。一気に稲穂祭ムードに包まれました。



左:スーパーマリオブラザーズのキャラクターに扮した3年生

右上:「開祭宣言」をする松島生徒会長



純粹に楽しんだ生徒。または、来年は自分たちの番だという意識で観ていた生徒。それぞれの思いで観ていたと思います。

意見文・英文スピーチ

日頃考えている自分の思いや、実践していることなどを、全校の前で堂々と発表してくれました。普段では見られない一面も見られ、新たな発見と共に感激しました。

【意見文】



1-1 倉島 心都さん
「何事も前向きに！」



1-2 スザンナさん
「ピアノの楽しさ」



2-3 李 艾玲さん
『『おじさん構文』の魅力

【英文スピーチ】



3-1 松澤 夢芽さん
“Share in the Present”



3-3 山田 拓未さん
“Open the Future”

長崎派遣訪問報告

8月8日～10日、3年生の松島丈士さん、山田拓末さん、片山奏子さんが、「平和使節」として長崎市を訪れました。

長崎で学んだことや、感じたこと、同じ中学生と話し合ったことなどを発表してくれました。



発表の様子

総合的な学習の発表（1，2年生）

1，2年生で、総合的な学習で学んだことを発表してくれました。

1年生は、「SDGsってなんだろう？」と題し、SDGsについて学んだことを、自分の言葉で発表してくれました。また、2年生は、7月に行われた職場体験学習について、経験して感じたこと、学んだことについて発表してくれました。



1年生の発表の様子



2年生の発表の様子
(職場体験の様子)

部活動発表

【演劇文芸部】

「狐の約束」

たった5人の演劇文芸部。いろいろな工夫や演技力で、全校を魅了しました。



劇の様子



劇が終わって、5人で集合写真

【ロボコン部】

自分たちで製作したロボットで、ロボコンの大会さながらに実演を発表し、ロボコンの魅力を全校に伝えてくれました。



発表の様子



発表が終わって、全員で集合写真

体 育 祭

【種 目】

- ・卓球バレー
- ・大玉ころがし
- ・全員リレー



大玉ころがしの様子



全員リレーの様子

前日の雨も上がり、天候にも恵まれ、体育祭を行うことができました。

競技ですから勝敗もありますが、各学級が一致団結し、全力でプレーし、全力で級友を応援する姿がどの学級でも見られました。

見ていて、心が爽やかになるステキな時間でした。



「一致団結」円陣の様子(3-2)

吹奏楽部の発表

あっという間の40分間でした。音楽のすばらしさ、そして楽しさを伝えてくれました。吹奏楽部のみなさん、ありがとうございました。



演奏中にシャボン玉が飛び交うという演出



稲穂祭が最後の演奏の3年生

フリーステージ

それぞれの特技を生かした、とてもレベルの高い発表を披露してくれました。

普段の学校生活では見られない一面を見ることができました。

発表してくれたみなさん、ありがとうございました。感動しました。



鍵盤ボーイズ



SJCPop



little sisters



クルトン

音 楽 会

どの学級も、どの学年も一生懸命で、素晴らしい合唱でした。全員が一人の指揮者に集中し、指揮者のタクトに合わせて歌っている姿がとても印象的でした。

歌の技術は人それぞれですが、自分の持てる力を精一杯発揮し、一つの曲をつくり上げようとしている姿にとっても感動しました。

これからも「歌える中野平中学校」を築いていってください。



3 学年合唱「瑠璃色の地球」

閉 祭 式

【生徒会長 松島 丈士さん 挨拶】

この2日間の稲穂祭はどうでしたか。稲穂祭は楽しかったですか。この2日間楽しかったことや失敗してしまったこと、色々なことがあったと思います。それはもう、経験のすることのできない一生の宝物です。大切にしましょう。

ところで、稲穂祭テーマにあるようにみなさんは輝くことはできましたか。私の目には、一人一人が眩しいくらい輝いているように見えました。

突然ですが、みなさんに集めてもらったスターが輝いていたのはなぜだと思いますか。私は、スターが輝いていたのは、一人一人が稲穂祭を全力で楽しみ、全員が笑顔だったからだと思います。つまり、輝いていたのはみなさんの笑顔だったのです。その輝き、笑顔をこれからも忘れずにいてください。

そして、学校生活の中でも主人公のように個性を輝かせていきましょう。

【校長先生 挨拶】

第54回稲穂祭、大変素晴らしい2日間でした。テーマ「星（ほし）～君が主人公（スター）、輝け 一人一人の個性～」のもと、全校生徒299名が、一人ひとりの個性を発揮しながら一致団結して、共に作り出したものは、一生懸命に頑張った人のみが味わうことができる感動、あるいは、どんなにお金を積んでも手に入れることができない貴重なものとなったのではないかと思います。

1 日目、美術部の皆さんが精魂込めて描き上げてくれたステージバックの披露から始まりました。コツコツと取り組んでもらったステージバックは、宇宙飛行士や星座をモチーフに丁寧に描かれており、温かみの感じる作品に仕上がっていました。続いて、全校制作が披露されました。全校生徒一人一人が関わったペットボトルキャップアートは、稲穂祭のテーマに沿った図柄で「星」

という言葉を中心に制作に関わった皆さんの思いを結集した作品になりました。これも全校生徒の皆さんが目標の倍のキャップを集めてくれたから完成させられたのだと思います。

また、ポスター・パンフレットの表紙の絵からも稲穂祭を成功させたいという作者の人たちの思いが伝わってきました。DCMでは、全クラス100%達成したのは、皆さんの稲穂祭に協力しようという気持ちの表れだと思いました。屋外の装飾としてのガラスアート、柱アートもそれぞれ工夫を凝らしながら描（えが）かれており見る人たちの目を楽しませてくれました。

日常生活で気になっていることや自分が気に入ったことをテーマに取り上げて自分の考えや思いを、筋道を立てて分かりやすく表現してくれた意見文発表、英文スピーチでは、自分の実践していることや自分の将来の夢を堂々と発表してくれました。長崎平和学習報告会では、生徒会3役の皆さんから自分たちが見て感じたことをわかりやすく、また、自分たち若い世代が平和を守っていかなければならないことを熱く語ってくれました。

1・2年生の総合的な学習の発表では、1年生はSDGsの17項目について説明したり、中野平中学校で行ったりしている活動について紹介してくれました。2年生は、職場体験について教えてもらったことや気をつけることを、またそこから学んだことを発表してくれました。

演劇文芸部の発表は「狐の約束」という演目で、星めぐりの約束を果たすというストーリーでしたが、最後まで目を離すことができませんでした。出演した皆さんの演技が大変素晴らしかったです。ロボコン部の発表もコンテスト用に開発・製作したロボットを操作する場面を見せてもらいました。ボールを運ぶ操作が更にスムーズにできるように改良して、是非ロボットコンテストでは結果を出してほしいと思います。

体育祭は、どの学年・クラスも楽しみながら真剣に取り組んでくれたと思います。どの学年も大いに盛り上がり、クラスで一致団結して競技に取り組んでくれたと思います。体育祭の目的であるクラスの団結力も高まったと思います。

2日目の吹奏楽部の演奏では、気持ちがウキウキするような曲を始め、世の中に広く知られているポップな曲、これぞオーケストラの演奏といった迫力のある、心が晴れ晴れとするような演奏を聞かせてもらいました。続いてのフリーステージではそれぞれの得意なことを披露してもらい、感心しながら見させてもらいました。皆さんの特技を知ることができると同時に大変楽しいひと時を過ごすことができました。

稲穂祭のメインともいえる音楽祭では、全校合唱の大地讃頌から始まりました。クラス合唱では、どの学年・クラスも一つの歌詞を大切に、言葉の意味を考えながら丁寧にはっきりと発声し、歌っていました。多くのクラスが男女のバランスの取れた美しいハーモニーを響かせてくれました。また、学年合唱についてもどの学年も大変素晴らしかったのですが、圧巻だったのは、3年生の学年合唱でした。今年の3年生は私と同じ2年前の中野平中学校で3年生の学年合唱を聞かせてもらいました。その時の感動、そして、昨年の3年生の感動をいつまでも心に留（とど）めてくれていたからこそ今年も素晴らしい合唱になったのだと思います。中野平学校の伝統をきちんと受け継いでくれて本当にありがとうございます。声量、ハーモニー、男女のバランスどれをとっても本当に素晴らしい合唱でした。3年生の合唱にかける熱い思い、そして体育館中に響き渡った学年合唱の響きが、今も脳裏に焼き付きついています。今年もお願いしますが、1・2年生のみなさんも3年生になったら今以上に素晴らしい歌声を響かせられることを期待しています。

このように、誠実で精一杯、持てる力を発揮しようとする皆さんの姿からそれぞれの個性を感じることができました。

第54回稲穂祭が幕を閉じようとしています。幕が閉じても、これからの学校生活の中で、一人一人の個性が輝き続けてくれることを願い、閉祭式の挨拶とします。本当に素敵な二日間を299人の皆さんありがとうございました。